

第293回 番組審議会

1. 日 時 令和2年 7月14日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F 「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 6名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)

近藤 一英 (副委員長)

—以下50音順—

石田 征広

佐々木 泰司

平野 順子

八木橋 伸之

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)

高嶋 昇 (常務取締役)

一戸 俊行 (取締役報道制作局長)

君澤 温 (取締役総務局長)

梨木 祐亮 (編成業務局次長)

吉田 沙織 (めんこいエンタープライズ制作部主任)

○ 事務局 大場 薫

4. 議題 『山・海・漬』

(新) シリーズ ミステリー探訪 消えた謎の大寺院 国見山廃寺跡
令和2年5月30日(土) 18:30~19:00放送

5. 議事概要

今回は、『山・海・漬』(新) シリーズ ミステリー探訪 消えた謎の大寺院 国見山廃寺跡について審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ梨木編成業務局次長からの説明

・視聴者の皆さんに、県内各地に伝わる伝説や、謎の多い地域などの知られざる魅力を伝えられるシリーズとして立ち上げた。

●めんこいエンタープライズ制作部吉田主任からの説明

・映像・演出・撮影にあたり新型コロナウイルス対策を配慮して行った。

●出席した委員からの意見

- ・出演者、博物館館長の伝えたいという熱意が良く分かった。
- ・難しくなりがちなテーマを30分という短い時間だがわかりやすくまとまっていた。
- ・山海漬の新テーマとして期待できる内容に仕上がっていた。
- ・岩手県内の知られざる歴史スポットを伝えたいという気持ちがよく伝わった。
- ・年代を検証する部分を盛り込んで欲しかった。
- ・なぜテーマとなった国見山廃寺跡がそれほど知られていないのか。
- ・地域に住む人たちに話を聞くなどしてもよかったのではないか。

●委員からの質問、意見に対する会社側からの回答

・重くなりすぎず、かつ浅くなりすぎず、そして小野寺さんがナレーションを読んだ時に映えるような、届くようなナレーションを書くということを考え

て制作した。

- ・新たなチャレンジという部分もあって立ち上げたシリーズなので、今日の皆様のご意見を参考にさせていただき制作していきます。また次回ご期待いただければと思う。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※令和2年7月15日（水） 産経新聞 東北版

※令和2年7月25日（土）午前4時42分から4時45分まで「めんこいテレビ番審りレポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付、各支社に備置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

9. その他の参考事項

特になし

※8月は休会となります。次回は、令和2年9月8日（火）12時より3階「星雲東の間」にて開催予定です。